



平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年8月1日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
(URL <http://www.takara.co.jp/>)

(コード番号：2531 東証・大証一部)

代表者 役職名 取締役社長
問合せ先責任者 役職名 取締役IR室長

氏名 大宮 久
氏名 松崎 修一郎

TEL (075) 241-5124

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容)
法人税等の税金費用の計上については簡便法によっております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
(内容)
(連結) 新規1社

2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	44,453	0.1	376	188.9	549	238.2	1,011	—
17年3月期第1四半期	44,430	0.4	130	△91.0	162	△88.6	△18	—
(参考) 17年3月期	195,359		7,402		6,838		2,614	

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	4.69	—
17年3月期第1四半期	△0.09	—
(参考) 17年3月期	11.74	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	189,060	89,006	47.1	412.77
17年3月期第1四半期	189,192	86,778	45.9	402.15
(参考) 17年3月期	190,773	89,478	46.9	414.58

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	△47	△721	△1,139	26,284
17年3月期第1四半期	△2,393	△2,545	3,789	19,265
(参考) 17年3月期	7,489	△4,786	5,047	28,151

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

【当四半期の概況】

当第1四半期（平成17年4月1日～平成17年6月30日まで）の連結売上高は44,453百万円（前年同期比100.1%）となりました。利益につきましては、連結営業利益は376百万円（前年同期は130百万円）、連結経常利益は549百万円（前年同期は162百万円）、連結当四半期純利益は1,011百万円（前年同期は18百万円の純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績概要は以下のとおりです。

【酒類・食品部門】

酒類・食品部門においては、積極的な拡販を図る一方、本年4月からスタートした第6次中期経営計画に掲げた、利益マネジメントを重視した効率的な営業活動にも取り組みました。

焼酎カテゴリーでは、「純」「純レジェンド」などを中心とするニュータイプ焼酎が減少したものの、焼酎の過半を占める飲用甲類が大幅に増加し、育成につとめております高付加価値本格焼酎につきましても好調に推移したため、焼酎全体では前年同期比105.6%の20,256百万円となりました。

ソフトアルコール飲料カテゴリーでは、本年3月に新発売した“タカラcanチューハイ「本格辛口」”の寄与などもありましたが、“タカラcanチューハイ「WMI X」”などの落ち込みが大きく、ソフトアルコール飲料全体では前年同期比86.9%の4,646百万円となりました。

清酒カテゴリーでは、国内の清酒市場全体が長期に低迷するなか、戦略商品であるソフトパック“松竹梅「天」”が大幅に増加し、また、「松竹梅白壁蔵」商品群も好調に推移したため、前年同期比108.7%の4,203百万円となりました。

調味料カテゴリーでは、中食市場への攻略による基盤強化を目指しており、みりん・料理清酒などの酒類調味料が好調に推移し、だし調味液などの食品調味料が減少したものの、調味料全体では前年同期比102.4%の4,750百万円となりました。

飲料カテゴリーでは、機能的食品事業へ転換を図っておりますが、果実飲料や健康飲料などが減少し、飲料全体では93.1%の3,000百万円となりました。また、原料用アルコール等につきましてもNEDO用原料アルコールが大幅に減少したこともあり、前年同期比94.7%の880百万円と減収となりました。

以上の結果、酒類・食品部門の外部売上高は前年同期比100.9%の41,194百万円となりました。また、営業損益では、コストダウン・コストカットに努めたことなどにより、前年同期比143.7%の1,101百万円となりました。

【バイオ部門】

バイオテクノロジーの研究開発活動を支援する製品やサービスを提供する遺伝子工学研究分野では、新製品・新技術開発競争の激化等の厳しい状況が続いており、主力製品である研究用試薬の売上は前年同期を上回ることができましたが、理化学機器の対前年同期比減少額が大きく、売上高は前年同期を下回りました。一方、遺伝子医療分野及び医食品バイオ分野では、レトロネクテン[®]、医療機器関連製品、フコイダン関連製品や寒天関連製品が好調に推移し前年同期を上回る売上高となりました。この結果、当部門の対外部売上高は、前年同期比94.6%の2,561百万円となりました。

利益面では、売上高の減少に伴う売上総利益の減少や、販売促進費等の増加による販売費及び一般管理費の増加も加わって、営業損益は661百万円の損失（前年同期は586百万円の損失）となりました。

なお、当部門の中核企業でありますタカラバイオ株式会社は、平成16年12月7日に東京証券取引所マザーズに上場（コード番号4974）致しましたので、詳細については、タカラバイオ株式会社の業績状況をご覧ください。

【その他の部門】

その他の部門は印刷事業や不動産賃貸事業が中心であります。その外部売上高は印刷事業で575百万円、不動産賃貸事業で85百万円など、合計697百万円（前年同期比78.9%）となり、営業利益は121百万円（前年同期比104.4%）となりました。

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期末の総資産は前年同四半期後において固定資産の減損に係る会計基準を早期適用したことなどによる土地の減少がありましたが、タカラバイオ株式会社の上場に伴う新株の発行収入などによる現金及び預金の増加などがありましたので前年同期末とほぼ同水準の189,060百万円となりました。負債ではコマーシャル・ペーパーの償還などにより前年同期末から8,044百万円減少し90,013百万円となりました。

少数株主持分はタカラバイオ株式会社の上場などにより、5,684百万円増加し10,040百万円となりました。株主資本は利益剰余金の増加などにより、前年同期末から2,228百万円増加し89,006百万円となりました。以上の結果、株主資本比率は1.2ポイント上昇し、47.1%となりました。

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益2,128百万円、減価償却費1,361百万円、未払酒税の減少1,267百万円、法人税等の支払額2,542百万円などで47百万円の支出となり、前年同期に比べ2,345百万円の支出減少となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは固定資産の取得による支出1,766百万円及び売却による収入1,482百万円などで721百万円の支出となり、前年同期に比べ1,823百万円の支出減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払いなどで1,139百万円の支出となり、コマーシャル・ペーパーを発行したことなどにより3,789百万円の収入であった前年同期に比べ4,929百万円の支出増加となりました。

以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は前年同期末に比べ7,019百万円増加し、26,284百万円となりました。

〔業績予想に関する定性的情報等〕

当社グループの売上高および利益につきましては、第一四半期の比重が低いといった特性がありますが、第1四半期を終了して、業績予想に対する状況につきましては連結売上高および利益はほぼ計画に近い進捗となっております。

(添付資料)

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨)

区 分	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)		前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)		(参考) 前連結事業年度 (平成17年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%		%
I 流動資産						
現金及び預金	26,668		19,790		27,595	
受取手形及び売掛金	48,993		49,238		49,841	
有 価 証 券	748		636		1,707	
たな卸資産	22,971		24,762		23,724	
その他の	4,527		5,183		3,539	
貸倒引当金	△51		△242		△205	
流動資産合計	103,857	54.9	99,370	52.5	106,202	55.7
II 固定資産						
有形固定資産	51,997		55,749		51,884	
無形固定資産	2,314		2,160		2,318	
投資その他の資産	30,890		31,911		30,367	
固定資産合計	85,202	45.1	89,821	47.5	84,570	44.3
資 産 合 計	189,060	100.0	189,192	100.0	190,773	100.0
(負 債 の 部)						
I 流動負債						
支払手形及び買掛金	15,389		16,871		15,302	
短期借入金	4,732		5,482		4,932	
1年以内に償還予定の社債	5,000		—		5,000	
コマーシャル・ペーパー	—		5,000		—	
未払酒税	8,311		8,575		9,579	
未払費用	3,615		3,874		4,798	
賞与引当金	3,133		2,920		2,086	
その他の	7,669		8,341		7,508	
流動負債合計	47,851	25.3	51,065	27.0	49,207	25.8

(百万円未満切捨)

区 分	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)		前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)		(参考) 前連結事業年度 (平成17年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
II 固定負債		%		%		%
社 債	20,000		25,000		20,000	
長期借入金	1,495		1,553		1,495	
退職給付引当金	7,672		7,501		7,576	
役員退職慰労引当金	648		564		654	
預り金	7,574		7,625		7,520	
その他の	4,769		4,748		4,809	
固定負債合計	42,161	22.3	46,992	24.8	42,056	22.0
負債合計	90,013	47.6	98,057	51.8	91,263	47.8
(少数株主持分)						
少数株主持分	10,040	5.3	4,356	2.3	10,030	5.3
(資本の部)						
I 資本金	13,226	7.0	13,226	7.0	13,226	6.9
II 資本剰余金	3,158	1.7	3,158	1.7	3,158	1.7
III 利益剰余金	67,817	35.9	65,885	34.8	68,510	35.9
IV その他有価証券評価差額金	6,935	3.7	6,876	3.6	6,936	3.6
V 為替換算調整勘定	△634	△0.4	△975	△0.5	△859	△0.4
VI 自己株式	△1,496	△0.8	△1,393	△0.7	△1,493	△0.8
資本合計	89,006	47.1	86,778	45.9	89,478	46.9
負債、少数株主持分及び資本合計	189,060	100.0	189,192	100.0	190,773	100.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨)

区 分	当四半期 (平成18年3月期第1四半期)		前年同四半期 (平成17年3月期第1四半期)		(参考) 前連結事業年度 平成17年3月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
I 売 上 高	44,453	100.0	44,430	100.0	195,359	100.0
II 売 上 原 価	27,607	62.1	27,669	62.3	119,114	61.0
III 売 上 総 利 益	16,846	37.9	16,760	37.7	76,244	39.0
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	16,469	37.1	16,630	37.4	68,841	35.2
IV 営 業 利 益	376	0.8	130	0.3	7,402	3.8
IV 営 業 外 収 益	395	0.9	329	0.8	915	0.5
V 営 業 外 費 用	222	0.5	296	0.7	1,479	0.8
VI 経 常 利 益	549	1.2	162	0.4	6,838	3.5
VI 特 別 利 益	1,713	3.9	31	0.1	4,682	2.4
VII 特 別 損 失	134	0.3	107	0.3	4,707	2.4
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,128	4.8	86	0.2	6,813	3.5
税 金 費 用	1,232	2.8	109	0.2	4,347	2.3
少 数 株 主 損 失	116	0.3	3	0.0	147	0.1
四半期(当期)純利益又は 四半期(当期)純損失(△)	1,011	2.3	△18	△0.0	2,614	1.3

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)

	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	(参考) 前連結事業年度 平成17年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,128	86	6,813
減価償却費	1,361	1,239	5,628
固定資産売却益	△1,438	△1	△1,133
売上債権の増減額(増加:△)	865	1,572	920
たな卸資産の増減額(増加:△)	806	△675	402
仕入債務の増減額(減少:△)	67	531	△976
未払酒税の増減額(減少:△)	△1,267	△1,641	△637
その他の	△125	△422	1,100
小 計	2,397	689	12,118
法人税等の支払額	△2,542	△3,146	△4,342
その他の	96	63	△286
営業活動によるキャッシュ・フロー	△47	△2,393	7,489
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形・無形固定資産の取得による支出	△1,766	△2,422	△8,380
有形固定資産の売却による収入	1,482	4	1,459
その他の	△437	△127	2,134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△721	△2,545	△4,786
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	—	△148	△298
商業・ペーパーの発行による収入	—	5,000	10,000
商業・ペーパーの償還による支出	—	—	△10,000
少数株主に対する株式の発行による収入	108	—	7,477
配当金の支払額	△1,036	△1,046	△1,625
その他の	△210	△14	△505
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,139	3,789	5,047
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	41	△23	△37
V 現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	△1,866	△1,172	7,713
VI 現金及び現金同等物の期首残高	28,151	20,437	20,437
VII 現金及び現金同等物の期末残高	26,284	19,265	28,151

4. セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

(百万円未満切捨)

	当第1四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)					
	酒類・食品	バイオ	その他	計	消去又は全社	連結
売上高 (1)外部顧客に対する売上高 (2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	41,194	2,561	697	44,453	—	44,453
計	61	0	1,678	1,740	(1,740)	—
計	41,255	2,562	2,376	46,194	(1,740)	44,453
営業費用	40,154	3,224	2,254	45,633	(1,556)	44,076
営業利益又は営業損失(△)	1,101	△661	121	560	(183)	376

	前第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)					
	酒類・食品	バイオ	その他	計	消去又は全社	連結
売上高 (1)外部顧客に対する売上高 (2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	40,837	2,709	884	44,430	—	44,430
計	47	4	1,619	1,671	(1,671)	—
計	40,884	2,713	2,503	46,102	(1,671)	44,430
営業費用	40,118	3,300	2,387	45,806	(1,506)	44,300
営業利益又は営業損失(△)	766	△586	116	296	(165)	130

	前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)					
	酒類・食品	バイオ	その他	計	消去又は全社	連結
売上高 (1)外部顧客に対する売上高 (2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	178,068	13,671	3,618	195,359	—	195,359
計	208	13	7,272	7,494	(7,494)	—
計	178,277	13,685	10,890	202,853	(7,494)	195,359
営業費用	169,632	14,762	10,256	194,650	(6,694)	187,956
営業利益又は営業損失(△)	8,644	△1,076	634	8,202	(799)	7,402

(注)①事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質に加え販売市場の類似性などを考慮して、酒類・食品、バイオ及びその他の3事業に区分しております。

②各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
酒類・食品	焼酎、ソフトアルコール飲料、清酒、ワイン、ウイスキー、中国酒、本みりん、食品調味料、原料用アルコール、果実飲料、健康飲料、乳飲料、ピアテイストドリンク
バイオ	試薬(遺伝子工学用、蛋白質工学用、細胞工学用、糖生物学用)、理化学機器、研究受託、医療機器、バイオ飲料、化粧品、キノコ類、キノコ類技術指導
その他	ラベル、ポスター、カタログ、カートン、段ボールケース、包装紙、販促用品、不動産賃貸

③営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の当第1四半期の金額は226百万円であり、これは持株会社である連結財務諸表提出会社で発生したものであります。

前第1四半期及び前連結会計年度のその金額は、それぞれ224百万円及び925百万円であります。

2. 所在地別セグメント情報

当第1四半期(自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)、前第1四半期(自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)及び前連結会計年度(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が、いずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載は省略しております。

3. 海外売上高

当第1四半期(自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)、前第1四半期(自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)及び前連結会計年度(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)

海外売上高が、いずれも連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載は省略しております。

5. 販売の状況

販売実績

当第1四半期における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(百万円未満切捨)

事業の種類別セグメント	当第1四半期 (H17.4.1～ H17.6.30)	前第1四半期 (H16.4.1～ H16.6.30)	前期比
	百万円	百万円	%
酒 類 ・ 食 品			
焼 酎	20,256	19,179	105.6
ソフトアルコール飲料	4,646	5,346	86.9
清 酒	4,203	3,866	108.7
そ の 他 酒 類	2,397	2,617	91.6
酒 類 計	31,504	31,009	101.6
本 み り ん	3,678	3,607	102.0
そ の 他 調 味 料	1,071	1,030	103.9
調 味 料 計	4,750	4,637	102.4
飲 料	3,000	3,222	93.1
原料用アルコール等	880	929	94.7
そ の 他	1,058	1,038	101.9
計	41,194	40,837	100.9
バ イ オ	2,561	2,709	94.6
そ の 他	697	884	78.9
合 計	44,453	44,430	100.1

(注) 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。